

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム「庄司屋敷」

目標達成計画

作成日: 令和3年2月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員は身体拘束の3原則である「切迫性」「非代替性」「一時性」についての理解不足が窺えたので身体拘束マニュアルを通じて、なぜ必要な事なのか職員全員が認識し理解していかなければならない。	・職員1人1人が身体拘束、3原則の意味と理解を深め、日常の実践にて、念頭に入れながら介護を行うようにする。	・各棟での毎月のミーティングを通じて身体拘束についての話し合いを実施し、また理解を深める為の、身体拘束マニュアルの熟読と、外部や社内での身体拘束がテーマの研修への参加を促していく。	6ヶ月
2	11	現在の勤務体制に対して満足している職員とそうではない職員とが居る、また人員不足が続いている。	・人員不足を解消できるように現状のスタッフがまずは長く勤めて頂ける環境作りを行い、新たな職員獲得がいつでも出来る準備をしておく。	・できる事として、職員1人1人が理念を深めて職場の環境を良くしたいとの意識向上を図る。 ・労働環境に対しての不満や悩みを聞き取る場を設けて常々どのような事を思っているのか、またそこから新たな課題を見つけていきたい。	6ヶ月
3	35	自然災害への訓練の取り組みが行われていない。	・どのように実施していくべきなのか、他事業所や社内での他部署との情報を共有し、実施できる環境を整えて、実際に訓練を実施していく。	・情報をまずは集めて、自事業所のできる訓練を考察して実践へと繋げていく。 ・その過程によって自然災害への職員の意識向上と、理解と、重要性を学んでいきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。